

会議の概要

平成28年度 第4回

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会

兼 ○ 大玉中学校運営協議会

日時 平成28年9月12日（月）

16:30～18:00

場所 大玉中学校 被服室

進行 大玉中教頭

本日の予定

1 開会のことば（進行：大玉中教頭）

2 教育長あいさつ（代理：指導主事）

- ・村議会開会中のため、教育長、教育部長、総務課長は欠席となり、指導主事が代理であいさつを行った。
- ・本日は授業参観、分科会にご参加いただき、子どもの姿、先生の姿、校舎などをしっかりと見て、感じていただいた後にこうして学校運営協議会を開催することができ、より中学校に寄り添った話し合いが出来ることと思う。ご協力いただいた中学校教職員の皆様にも大変感謝申し上げます。

3 おおたま学園コミュニティ・スクール委員会会長あいさつ（代理：CS 副会長）

- ・会長が所用で欠席のため、副会長があいさつを行った。
- ・本日は残念ながら授業を参観することができなかったが、先生方が生き生きとした顔でお帰りになる姿をお見かけした。きっとよいオープンスクールだったのだろうと思った。今日は学校運営協議会を中学校が準備して下さったということで感謝申し上げます。最後までよろしくお願いします。

4 協議（進行 副会長）

（1）本日の協議内容説明（大玉中教頭）

- ・一つは「大玉中学校再発見！」というテーマで、中学校に関する話題提供を行う。もう一つは拡大させた服務倫理委員会としてグループによる協議を行う。教職員の不祥事防止のため、第三者のご意見を取り入れて、よりよい学校づくりに役立てたい。

（2）大玉中学校（大玉村）再発見！（30分）

①大玉中学校教職員の自己紹介（「大玉村のよさ」の発表）

- ・名簿の順に自己紹介を行った。

②CS 委員の自己紹介（「オープンスクールの感想」の発表）

- ・名簿の順に自己紹介を行った。

③大玉中学校について（〇×クイズ形式）

- ・大玉中の歴史や文化、教職員等に関わるクイズに答える形で、楽しみながら大玉中について理解を深めた。

④質疑・応答

なし。

（３）拡大服務倫理委員会（５０分）

A【セクハラ①（生徒）】

B【セクハラ②（同僚）】

C【公金処理不適切】

D【飲酒運転】

E【個人情報の流失】

F【体罰】

①進め方の確認

- ・A～Fの事例を各班２つずつ割り当て、その不祥事発生の「背景（要因）」と「再発（未然）防止の対策」について各々が付箋紙に自分の考えを書き出し、発表し合う。

②グループ別協議

③発表

「背景（要因）」

- ・ストレス、孤立化。
- ・本人の認識の低さ。
- ・職場の雰囲気がよくないのではないか。
- ・業務の多忙化。
- ・本人の認識の低さ。
- ・上司の許可なく勝手な判断をしている。
- ・生徒の様子について観察不足であった。
- ・自分は大丈夫だという気持ちの弱さ。
- ・人権意識があればこういった問題は起きないだろう。
- ・相手に対する思いやりが欠けている。

「再発（未然）防止の対策」

- ・問題がエスカレートしないうちに上司に相談する。
- ・教職員同士で声かけをし、報・連・相を徹底する。
- ・規範意識を高める、自覚することが大切。
- ・管理職の決済を必ず受けることを徹底する。
- ・セクハラ、公金処理、体罰などについて、改めて学習するための研修が必要。
- ・飲酒運転など不祥事リスクについても学習が必要。

- ・帰宅方法の確認を、同僚などの間でしておくべきだ。
- ・職場の雰囲気改善する。
- ・生徒一人一人が置かれた環境を理解することが大切。
- ・1対1での指導を避ける。複数であれば過剰な指導になった時、抑止力となる。
- ・部活動の練習内容をしっかりと見直し、水分補給や休憩のタイミングなどもあらかじめ決めておく。毎日、気温、湿度などを意識して練習内容を検討する。

④講評（CS 副会長）

- ・倫理に関する事例を検討してみると、全て当たり前のこと。しかし、サービス倫理というものを改めて勉強しなければならないと感じた。
- ・職場の上司は、倫理意識をしっかりと認識しなければならない。
- ・人権意識を持つという意見が多く出ていて、ここ数年来、CS 委員も勉強してきた「人権」について意識が高まってきていると感じた。
- ・自分が所属している団体、職場などの常識を疑わなければならないのではないかと。団体の中には伝統、その他、継承している常識などがあると思うが、それが今の社会常識になっているのかどうかを疑ってみて、話し合う場を設けて再確認する必要があるのではないかと。
- ・学校では子どもたちは先生方のことを信頼している。その信頼をしっかりと受け止めて、頑張ってもらいたいと思う。

⑤御礼の言葉（大玉中校長）

- ・今日挙げた 6 つの事例は全て福島県内で実際に起こった不祥事である。こういった事例が実際の学校現場で起こっている。県の教育委員会からも第三者を交えたサービス倫理委員会を開くよう指導されている。学校だけでは形骸化してしまうため、今日はそういった意味で非常に貴重な機会となった。特にリスクマネジメントの大切さを確認した。こういった不祥事が一件でも大玉中で起きたら、今までの大玉中学校への信頼はなくなってしまい、その信頼を取り戻すためにはとんでもない時間と努力が必要になるだろう。今日いただいたご意見を参考にしながら、今後も不祥事ゼロを目指して取り組んでいきたいと思う。

（４）事務局より

- ・次回の CS 委員会は 10 月の中旬を予定している。CS 委員会に先立ち、会長、副会長さんには 10 月初旬に役員会を開催する予定となっている。日程が決まり次第近日中に文書にてお知らせする。
- ・「第 8 回大玉村教育フォーラム」開催内容についてのご意見を、CS 委員の皆様からもいただきたい。役員会での事前協議で参考にさせていただきたいので、9 月 30 日（金）締め切りで事務局までアンケートの提出をお願いしたい。

（５）その他

- ・オータムフェスタについて、各部会ごとの打ち合せ等が必要なのか伺いたい。

- ・各部会ごとに学校の方で順調にすすめているところである。打ち合わせが必要かどうかはそれぞれの部長の先生から連絡を取っていただくよう話をしている。その話がない場合は必要がないということでご理解いただければと思う。

5 閉会のことば（進行：大玉中教頭）

- ・皆様のご協力により実りのある学校運営協議会になりました。今後とも大玉中学校をどうぞよろしくお願いいたします。



大玉中学校教職員は校長、教頭含め 14 名の参加をいただいた。

拡大服務倫理委員会では、教職員、CS 委員が混合の小グループに分かれて、実際の事例について話し合い、班毎に意見を発表した。